

## ハウス工房には悪いけれど 木工が大好きに なっていました。

こんな雰囲気の家って素敵ですね。

どうして、こんな家にしようって思われた  
のですか。

もともと、マンションに住んでいました。私は「自転車」という文字を見るだけでも嬉しくなるくらい自転車が好きですから、休日にもほとんど家にいることもなく、自転車に乗ってどこかに出かけています。だから、家にはあまり関心がなかったのですが、妻の花粉症なんかは酷くて・・・。ハウス工房の木の家シリーズの住まいだと随分それが軽減されるという話を聞いたのがきっかけです。

失礼ですが、花粉症がひどいからと言って  
「家を買おう」って通常思わないじゃない  
ですか。

もちろん、その通り！富裕層でもないですから（笑）。

だけど、妻は大阪の街中に行くと「空気が悪いから辛い」とか「マスクが無いと外に出られない」なんていうものだから、少し空気を意識してみると分かったんです。

「これは酷い空気だなあって。」

だからと言って、山奥に引っ越す訳にもい

かないでしょ。会社には行かないといけな  
いですから。

だけど、家の中が快適だったら、どんなに  
気持ちいいだろうなあって想像すると、家  
が欲しくなってきたんです。

確かに気持ちいいですよ。この感じ、普  
通の家ではなかなか感じられないですよ。  
今はもちろん、満足されているようですが、  
リフォームをしようって思われた時は勇  
気がいったのではないですか。

そうですね。貯金もなかったですから（笑）  
だけど、こんな家に住みたいって思いだけ  
は、ハウス工房さんに伝えたわけ。  
そこから、ことは動き出した感じです。

そこ、もう少し詳しく聞きたいです。  
きっと、今は予算が取れないけれど、何と  
かしたいなんていうご家庭もあると思  
いますから。

資産と言えば、当時住んでいたマンション  
だけ。それもローンがまだ残っていただけ  
から、どうしていいのかもよく分かりませ  
んでした。でも、ハウス工房さんも何とか  
しようって言うてくれて、中古物件探し  
から始めました。

とりあえず、マンションを売り払ってその  
資金を中古物件購入費用とリフォームの  
費用に充てるってことにしたのです。不足

分はもちろんローンでね。中古物件探しは、大変だったけれど、面白かったですよ。「いい物件を探そう」なんて話にならないのですから。生活がスタートできるまでの費用をできるだけ安く抑えようってことで、「ボロボロの物件を探そう」ってことになりました。

ボロボロの物件だと、建物の歪みなども気になるし、リフォーム終了後の様子も全く現地ではイメージすることができないから、はっきり言って不安でしたけどね。でも、綺麗な物件を高額で買って、一部をリフォームするよりは、思い切りボロボロの物件を買って、しっかり解体して、修繕をしっかりとって貰う方が安心できるって思ったんです。

どうですか？

ここが、ボロボロの家だったとは全然思えないでしょ。

全くそんな心配すら感じませんよ。

むしろ、最初は正直「うわっ凄い！」って思ったくらいですから。

そう言ってくれると嬉しいけれど、実は自分でも凄い家だなあって思っているんです（笑）

で、リフォームに相当費用をかけたんじゃないの？って言われることが多いんですが、

そんなことないんです。こういう素材の家って特別な感じがして、世の中の多くの人が高額って思っているみたいですよ。だから、お金持ち？なんて目線で見られますから、それも楽しんでます。

費用は当然おさえないですから、相見積もりはとりましたよ。他社とハウス工房さんの価格とがあまりにも違ってビックリ！だから、特別なイメージをみんなもつのかぁなんて変に納得したものです。

肝心の奥様の花粉症やアレルギーはどうなったのでしょうか。

この空気感ですからね（笑）家で辛いなんという事はほとんどなくなりましたね。どうしても予算の都合で一部リフォームをせずに残した部分があったのですが、そこに妻が近づくと、くしゃみをしたり、涙を流すんですよ。私はくしゃみなど出ませんが、空気感の違いはすぐに分かりました。いい空間にしていると悪い空間ってすぐに分かるようになるんですね。使う建材によってこんなにも違うのかって、改めて感じましたよ。

確かにそうですね。私は田舎で育ったもの  
ですから、京都や大阪に出てきた時にはビ  
ックリしました。正直、こんなところで暮  
らせない！とまで思いましたね。水も悲惨  
でしたし...。でも、慣れるとそれが当たり  
前になっていましたね。

そうそう、そんなイメージ。  
で、こんな贅沢な空間で生活をしていると、  
木が大好きになってしまったんです。施工  
中の様子もよく見ていましたから、「自分  
も木で何か作りたい！」なんて思うよう  
になって、今は木工ライフも満喫ですよ。  
いろいろな物が作れるようになってきま  
したから、ハウス工房にお願いしなくても  
自分でできることが増えましたから、ハウ  
ス工房さん！ごめんなさい。なんですけど  
ね（笑）

住まいが変わると人が変わるなんて最初  
は意味がよく分からなかったですが、今で  
はその意味がよくわかります。



## 家が教育をしてくれるから 子育てが超楽なんです。

凄い木の香りですね。こんな木の家にしようと思ったきっかけを教えてください？

私たち家族は、一般的なマンションか建売り一戸建てに住めたら最高だなあと考えていました。要するに新聞折込広告などで見つけたらそれでいいかなあという程度です。ところが、次男が誕生してすぐに酷いアトピーを発症したのです。だから、住環境を整えてやろうと思ったのがきっかけです。

住環境とアトピーって関係あるのですか？

私もそんな事関係あるわけ無いと思っていました。ところが、ある信頼するドクターが、フローリング床やクロスを貼った壁から有害な物が揮発して、それが原因で次男はアトピーになっているっていうのです。最初は信じられなかったのですが、古民家などに宿泊させてもらおうと確実に次男の症状は落ち着きました。そこでやっと、ドクターの言葉が理解できました。ホームセンターに行けば独特の臭いがありますよね。あれは、化学物質が揮発しているからだって分かったんです。

確かにホームセンターは独特の臭いがありますね。

でも、原因がはっきりとしても中古物件を買われ、これほど見事にリフォームされるなんて…。経済的にゆとりがあったのか、しっかりと預金をされていたのですね。

いやいや、本当に経済的なゆとりは全くありませんでした。当時は、少しでも次男のためになることをしようと思って、毎日温泉に通っていましたから。1時間もかけて温泉に行きますから、ガソリン代もそれなりにかかりましたし、入湯料もかなりかかりましたから。それに、食材もこだわり、健康に良いと言われる水を買ったり、サブリを試したりとあらゆることを試しましたから。相当な出費だったことはご想像がつきますよね。

そこまで徹底されたのですね。出費は相当だったことは察しがつきました。

その状態でもこの様な家にしようかと決断されましたね。またまた失言が続きますが、勇気があるなあって思いますよ。お話を伺っている私が正直驚いています。

共働き世帯ではありますが、夫婦共に普通のサラリーマンですから、ドクターに「家が問題」と言われた時には相当ショックを受けましたよ。建材にまでこだわった家の購入なんて思いつきもしませんでしたから、不動産屋を巡り、建材からの化学物質

の揮発が終わったような古い 賃貸物件探しから始めました。でも、「できるだけ古い賃貸物件がいい」なんてお客はまず居ないですよ。それに、クロスは大抵張り替えをしていますから、条件を満たす物件が無かったのです。

ですから、仕方なく、中古物件を探してリフォームする道を選んだのですが、これまた大変でした。毎週リフォーム業者を巡り、相談するのですが、かなり高価で落ち込む日々が続きました。

もちろん、そうでしょう。こんな素敵な雰囲気の家で気持ちの良い家ですから。

そこで、自然素材を扱っている工務店のモデルルームの賃貸をお願いしようって思いついたわけです。その時、目についたハウス工房さんにいきなり問い合わせの電話を入れたのが出会いのきっかけとなった訳です。残念ながら、モデルルームをもつと経費がかかるからモデルルームはもっていないと言われたのです。でも、「お困りならば相談に乗りますよ。」とっていただき、話を伺っていると、現実味のある予算内でなんとかなりそうな気がしてきたのです。

でも、その頃の私は偉そうに「相見積もりもとりますよ。他の会社がよりよい条件ならそこをお願いすることにしますよ。」なんて言い、他の会社にもたくさん問い合わせたり、足を運んだりもしました。ほんと

たくさんの会社に行きましたね。でも・・・比較検討の余地があるという会社には出会えませんでした。だから、ハウス工房さんに全てを任せようって思ったのです。正直、偉そうなことを言ってごめんなさいって気分でした。



じゃあ、私もこんな家に住みたいって思えば、住むことができますか？

もちろん、住めますよ。こういう家って何だか特別感があるような気がしますが、費用面ではものすごい特別って感じはありませんよ。長い目で見れば、ワックスなんかも必要ありませんし、漆喰ですからクロスの大張り替えも不要でしょ。何か問題があ

っても、その箇所だけ自分で漆喰を塗ればそれで終わり。業者に作業を依頼することもないですから、お得なのかもしれません。

私、マンションに住んでいますが、フローリングワックスって結構高いですよ。安いものだとすぐに剥げてしまうし、手間がかかりますしね。  
それよりも、息子さんは良くなったのですか？

それが驚いたことに、めきめきとアトピーが改善されていきました。今では、アトピーだったなんて誰も思わないくらい全身美肌ですよ(笑)。こんな事を経験すると、考え方も生活の仕方もガラリと変わりますね。家が変わると思考が変わるんですよ。

えっ？それってどういう事ですか？

難しい話ではないですよ。家を変えたら、息子のアトピーが治ったわけですよ。そうすると、親として家に感謝しているんですよ。「木はやっぱり凄いなあ」って。身の回りの自然に目が行くわけですよ。そのあたりに生えている草木も一生懸命に生きているし、毎日食べている野菜にだって命があるって心から思えるようになったのです。こんな大切なことを、自分の子どもには少なくとも伝えておきたいって思うようになって、今では畑を借りて野

菜を育てるようになったのです。家族で育てた野菜って最高に美味しいものです。おかげで、息子たちは、植物は生命力が意外と強いということ、また、時には動物が畑の作物を狙ってやってきて、食べてしまうことなど、自然界のルールを身をもって学んでいます。ここまで行くと、家族が良い循環の中に入っていくのです。「家が好き」⇒「自然に目が行く」⇒「自分で作物を育ててみる」⇒「健康的な食事になる」⇒「学校では学べない自然界のルールを学ぶ」・・・といったイメージですよ。

それに、知らず知らずにみんなが受けているストレスが、この家ではかなり軽減されるのも、すごいメリットですよ。子どもなんか、それが強く出ますからね。子育てが超楽なんですよ。

なるほど...。何だか「家が教育をしている」といった印象を受けますね。

そうそう。上手いこと言いますね。通常、リフォームとか新築って家が完成したら終わりですよ。でも、この家って家の完成がスタート地点ですよ。生活が始まるといろいろな変化が起きますから。他にも、私と同じような家に住んでいる方がいらっしやいますから、是非、インタビューに行ってみてください。それぞれの家庭に「家が教育している」って実感できると思いますよ。